

チェコ語の辞書

最初のうちは、辞書は必要ありません。辞書で調べるよりも、教科書に出てくる語やそれに関連して授業中に先生が紹介する語を覚えることの方がはるかに大切だからです。まずは語彙を頭に叩き込まなければ前に進めません。そんなときに助けとなるのが、この語彙集です。

『[チェコ語基礎 1500 語](#)』金指久美子編 大学書林 1998

これは調べるためのものではなく、覚えるためのものです。この語彙集に授業中に出てきた語を加えて、まずは自分なりの基礎的な語彙集を頭の中に作ることから始めます。

初級の教科書を学び終わると、講読が始まります。すると、必要となるのが日本語との対訳辞典です。

『[現代チェコ語日本語辞典](#)』小林正成・桑原文子共編 大学書林 2001

1994 年に京都産業大学出版会から出版された『[チェコ語=日本語辞典](#)』の復刻版です。収録語彙数は約 20000 語で、頻度の高い語には用例も紹介されています。とりあえず何か読んでみる際には、この辞書があれば充分です。

さらに学習が進んで、実際に小説を読んだり、卒論のために専門文献を読んだりするようになると、『現代チェコ語日本語辞典』には載っていない語も出てくるかもしれません。そんな時には語数の多いチェコ語・英語辞典で調べてみるといいでしょう。

[Velký česko-anglický slovník](#), Josef Fronek 編 LEDA 2000

見出し語は赤い色で印刷されています。見出し語のそばに別形や女性を表わす形も赤い色で添えられている語もあります。この赤い色で印刷された語は約 100000 語です。

じゃあ、最初からこの辞書を揃えてしまえば……という声も聞こえてきそうですが、よほどの英語力がついていないと、結局は英和辞典も引かなくてはならず、時間と手間がかかります。それに、かなり重いので携帯に適しているとはいえません。基礎的な 5000 語すら知らないようでは、無駄に 95000 語を持ち歩くといったはめに陥ります。

この段階に進むと、訳語にたよらずに語義を確認する必要が出てきます。そんなとき、一般的に用いられているチェコ人向けの辞書が役立ちます。

[Slovník spisovné češtiny pro školu a veřejnost](#), ACADEMIA

1978 年の初版発行以来、第 3 版まで版を重ね、その第 3 版の 4 刷が 2010 年に出たばかりです。語彙数は 50000 語ですが、付録に人名や地名の一覧や、略語一覧もついています。

これらの辞書にも載っていない特殊な語彙を調べる必要が生じたら、8 巻の大辞典を参照します。

[Slovník spisovného jazyka českého I-VIII](#), ACADEMIA, 1989

これは 1960 年から 71 年にかけて出版された 4 巻本の辞書の復刻版です。そのため、1970 年代以降の語彙や語義は掲載されていません。

他にもチェコ語には各種専門用語辞典、新語辞典、古語辞典などさまざまな種類の辞書が揃っています。分からない語に出会ったら、読んでいるものの性質に応じて調べることができます。

チェコ語で作文するときに欲しくなるのが『日本語・チェコ語辞典』ですが、これはまだ日本では出版されていません。最初に紹介した『チェコ語基礎 1500 語』の付録にある程度です。

チェコでは次の辞書が出版されています。

[Japonsko český slovník](#), Ivan Krouský, František Šilar 編 LEDA, 2005

そのほかにも、チェコでは語数が多く用例の充実している『英語・チェコ語辞典』や『ロシア語・チェコ語辞典』が出版されています。どの辞書もこの大学の図書館に備えてあります。

最後にひとこと。語彙は覚えてこそ、自分のものになります。辞書を引いて意味を書きこんだだけで勉強した気になるのは大きな誤解です。そこまでなら、鍛えられたのはあなたの腕であって頭ではないのですから。

(2010 年 12 月 記：金指)